

鬼無里de薪活プロジェクト

～ 薪を活用した地域循環のしくみづくり ～

長野市鬼無里地区 地域おこし協力隊 木原 貴之

目次

- 自己紹介
- 鬼無里地区の地域おこし協力隊への志望動機
- 鬼無里地区地域おこし協力隊のミッション
- 地域おこし協力隊としての活動状況
- 任期満了後を見据えた生業探し
- 自分なりの「薪を活用した地域循環のしくみづくり」
- 精油の蒸留作業から商品化まで
- 精油ラベル制作（岡学園トータルデザインアカデミー）
- メディア取材対応
- 特殊伐採の作業風景
- 北信木材センターへの搬入・市売り
- 薪ステーションへの原木納品
- 直販用薪生産作業風景
- 長野市住宅除雪支援員としての活動
- 市営バス停留所の除雪
- 最後に…協力隊の活動を通じて感じたこと

自己紹介

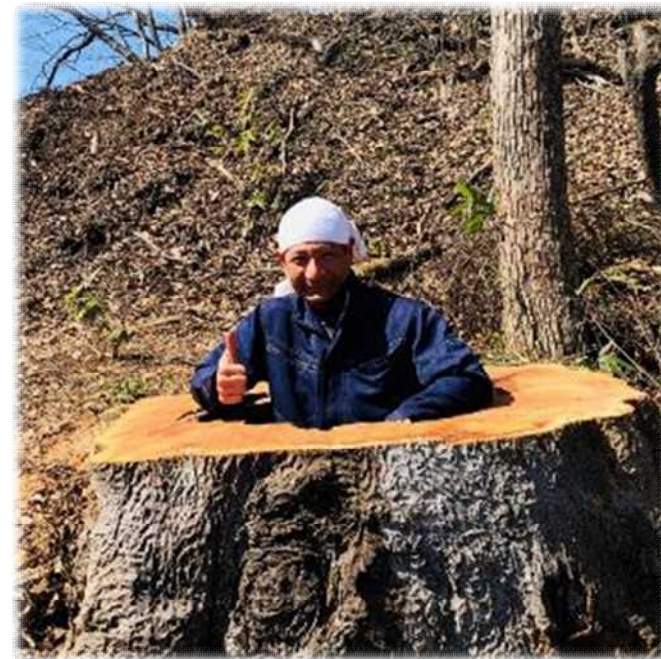
氏名木原 貴之

出身東京都江戸川区

趣味ロードバイク

献血（2022年11月末時点で186回）

職歴音声及びデータ系通信関連の業界に従事



- 法人向け電話設備（レガシーPBX、FMC・UC）やWeb会議システム、固定電話サービス（PSTN、光電話）の提案及び構築、開通サポート
- インターネットサービスプロバイダのインフラ部門運用保守
- 広域社内ネットワーク（VPN）の提案および開通サポート、運用保守 …等

鬼無里地区の地域おこし協力隊への志望動機

30代中盤、就業先である某通信事業者の長野支店を担当することになり、毎月1～2回出張で長野を訪れていた。

長野駅を出たときに見える山に囲まれた風景に憧れ、「いつかは長野に移住したい」と思うようになっていた。

40代中盤を迎え本格的に移住を検討し始めた時に、長野市の協力隊募集を目にし、おためし協力隊に参加し鬼無里を訪れ、自然に囲まれた静かな谷の田園風景に魅了される。

ミッションは「薪活」と「空き家対策」の二択だったが、自然の中で仕事をする林業に興味があったため「薪活」を選択。

鬼無里地区地域おこし協力隊のミッション

「鬼無里de薪活プロジェクト」の推進

- 薪を活用した地域循環のしくみづくり支援
- 間伐材、支障木等の伐採～薪の製造
- 有害鳥獣対策支援
- NPO法人まめってえ鬼無里が主催するイベント等への支援

地域おこし協力隊としての活動状況

【1年目】

- NPO法人まめってえ鬼無里が運営する薪ステーションで薪の生産支援
- 長野県林業総合センターで開催される「森林・林業セミナー」の受講
(全8回・30日間)
- 林業に必要な資格の取得
(小型車両系建設機械・小型移動式クレーン運転技能講習十玉掛け技能講習)



地域おこし協力隊としての活動状況

【2年目】

- 薪ステーションの支援を薪割りではなく原木を調達することにシフト
- 長野県林業総合センターで開催される「林業士入門講座」の受講
(全6回・16日間)
- 特殊伐採の技術習得のため若穂地区協力隊OB大野氏から指導を受ける
- 鬼無里地区内の七ツ室に作業場を借り、薪と精油の生産を実施



地域おこし協力隊としての活動状況

【3年目】

- 任期満了を見据えた収入源の確保（特殊伐採、薪、精油の3本柱）
 - ① 特殊伐採の技術習得及び研修への参加
及び鬼無里地区における伐採現場の獲得及び伐採作業
 - ② 支障木から抽出した精油の商品化及び販売
 - ③ 伐採した支障木を玉切りし薪ステーションへ納品（5,300円/立米）
及び直販分の薪割り（固定客への直接販売）



任期満了後を見据えた生業探し

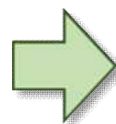
森林整備(間伐)・特殊伐採



若穂地区協力隊OB大野氏から
伐採技術の指導を受ける

その際に発生した廃材(短い幹や枝葉)を
もらってきては特用林産物を生産

伐採・薪・精油の3本柱を生業とする



薪ステーションにて実習



森林・林業セミナーにて実習

自分なりの「薪を活用した地域循環のしくみづくり」



特殊伐採

支障木・危険木の伐採は森林ではなく住宅街で行われる場合が多く伐採本数が少ない。そのため木材市場に持ち込んで収益化することが困難なために産業廃棄物として捨てられてしまう場合もある。
※「林業」というよりは「造園業」



精油(エッセンシャルオイル)

枝葉を粉砕し薪を熱源に蒸留

資源活用

地域の安心・安全を守る
⇒ 人間の都合で伐採されてしまうかわいそうな木を資源として有効活用したい

広葉樹

薪

きのこ用原木

薪ステーションが既に販売している

針広共通

根・株

バイオマス発電に利用される場合がある

枝・葉

使い道がない

針葉樹

薪

薪ストーブユーザーにあまり好まれない
(火力は強いが燃焼時間が短い)

精油の蒸留作業から商品化まで



①危険木・支障木から集めた枝や葉をウッドチップパーで粉碎し、油が出やすくなるように切断面を増やす



②30リットル程度の水を入れたドラム缶の中に蒸し器同様に台座を入れその上に粉碎した材料を詰め込む



③隙間なく材料を詰め込んだらフタをして冷却装置を接続し薪を焚いて蒸留する（蒸し上げる）

精油の蒸留作業から商品化まで



④スギの場合、薪を焚き始めてから2時間半ほどすると水蒸気が冷却装置を通してオイルセパレーターにより芳香蒸留水と精油に分離される



⑤オイルセパレーターから抜き取った精油に脱水材(硫酸ナトリウム)を入れて水抜きし純度を上げる



⑥脱水材をろ過し遮光ビンに詰めてラベルを貼り商品として完成

(※主にネットショップにて販売)

精油ラベル制作（岡学園トータルデザインアカデミー）

イブニング版



信濃毎日新聞デジタル

2022/12/09 FRI

トップ 新聞 経済 政治 社会 スポーツ 国際 文化・芸能 暮らし・話題 地域

長野県 経済 主要 北信

支障木を「無駄なく」 長野市鬼無里の地域おこし隊員、エッセンシャルオイル抽出版売

2022/03/03 19:01 有料会員記事

シェア ツイート B1ブックマーク

記事をクリッピング



精油を手にする木原さん（右）と、商品ロゴなどを考案した岡学園の学生ら

長野市鬼無里地区の地域おこし協力隊、木原貴之さん（47）が、市内で支障木や危険木として伐採された樹木から精油（エッセンシャルオイル）を抽出し、インターネットで販売する事業を始めた。まきを活用した地域循環の仕組みづくり...

（残り 665 文字 / 全文 775 文字）

この記事は会員限定記事です
無料会員登録で月6本まで閲覧できます

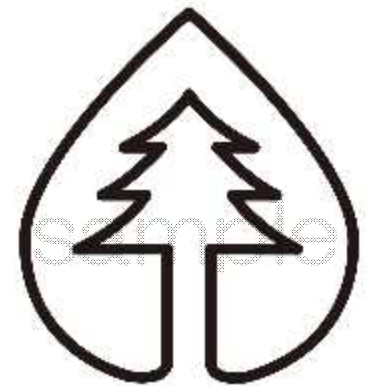
無料会員登録

有料会員登録

岡学園さまのご厚意でラベルのデザイン製作を授業の一環に取り入れて頂きました。



精油ラベルロゴ



名刺用ロゴ

メディア取材対応

- 2020/8/20 NHK長野 おはよう日本
- 2021/1/21 NHKWORLDJAPANOnDemand
- 2021/1/1 INC長野 戸隠・鬼無里情報局
- 2021/12/20 INC長野 戸隠・鬼無里情報局
- 2022/3/11 INC長野 戸隠・鬼無里情報局
- 2022/4/16 SBC信越放送 エコロジー最前線
- 2022/8/25 テレビ信州 ゆうがたGet!
- 2022/3/3 信濃毎日新聞
- 2022/3/19 長野市民新聞社
- 2022/3/19 週刊長野
- 2022/3/23 朝日新聞
- 2022/4/14 中日新聞
- 2022/5/21 週刊長野



2022年8月25日 テレビ信州ゆうがたGet!

特殊伐採の作業風景(2022年3月中旬)



親方に指導してもらいながら初めての断幹作業

特殊伐採の作業風景(2022年5月下旬)



手前から一位、槐、桜

枝葉を集積

細い部分は薪として活用、
本玉は木材市場へ

北信木材センターへの搬入・市売り (2022年5月下旬)



桜と槐

槐の元玉は直径約45cm
長さは2m30cmほど

市売りの結果は…

特殊伐採の作業風景(2022年6月中旬)



一見、普通のスギですが…



一度切り詰めたので株立ち状態



一番太い幹に登りまとめて除去

特殊伐採の作業風景(2022年6月下旬)



市に予算がないとのことで元鬼無里東小学校(上里スポーツセンター)裏にある支障木の一部を伐採。伐採した檜の枝葉を使って精油を蒸留しました。

特殊伐採の作業風景(2022年6月下旬)



枝打ちしながら登って行き、体育館の屋根に当たらないよう長さで穂先を切り落としました。

特殊伐採の作業風景(2022年11月上旬)



伐倒方向の20数m先には電線があるため、樹高18mより上の穂先を切り落とす作業

薪ステーションへの原木納品



カラ荷で帰る無駄なことはしないが過積載には注意！
苦労して出した原木の買取価格は…



薪ステーションが
Yahoo! ニュースの
トップに！

直販用薪生産作業風景



貯まった原木は自費購入した12トン薪割り機を使って生産、年間生産量は10~12立米程度
(ちなみに薪ステーションで生産される薪は年間100立米以上)

長野市住宅除雪支援員としての活動



屋根に登っている時だけが危険ではありません。下で作業中に滑り落ちてきました。

市営バス停留所の除雪



停留所の除雪作業も市職員としての仕事

1日で15か所ほど回りました(今シーズン2回)

最後に…協力隊の活動を通じて感じたこと

東京で経験した仕事の中で学んだ事と何も変わらない

① 目的と手段

… 目的または目標が何なのかを常に意識していないと誤った手段を取りがち
軸が無ければブレて迷走する

② ヒト・モノ・カネ

… 地域住人との交流、施設・設備・場所、活動費などリソースを有効に利活用する

③ 課題解決（ソリューション）

… 地区内の方達は何に困っているのか？ お手伝いできることは何なのか？
力になりたいと思わなければ誰も手を貸してくれない

結論：今後も「鬼無里ソリューション」に向き合い定住していく